

議案第158号

指定管理者の指定について (大津市立木戸デイサービスセンター)

令和7年12月11日
健康福祉部介護・福祉施設課

申請者概要

受付番号	1
団体名 代表者 所在地	社会福祉法人 大津市社会福祉事業団 理事長 西村 和利 大津市浜大津四丁目1番1号
事業計画の骨子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理の基本方針 2. 安全管理・リスク管理・緊急時の対応 3. コンプライアンス・個人情報保護・ハラスメント対策 4. 類似施設の管理実績 5. 人員計画 6. 職員の研修計画 7. サービス向上策 8. 利用促進の方策・新規利用者の獲得策 9. 社会的貢献への取組 10. 委託料、経費の縮減策
委託料申請額	44,755千円(5年間)

採点結果及び選定理由

■ 採点結果

	安定的な運営	サービスの向上	経費の縮減	合 計
配 点	70	40	30	140
満 点	350	200	150	700
(最低水準点)	(210)	(120)	(90)	(420)
得 点	270	142	93	505

■ 選定理由

施設の設置目的及び管理運営に関する基本的な考え方を十分に理解しているとともに、類似施設の管理運営についての経験と実績を活かした、安定的な運営が期待できるため。

事業計画書(概要版)

～管理の基本方針～



大津市社会福祉事業団では基本理念として「地域に貢献する事業団」を標榜し、地域とのつながりを大切にした福祉・介護の拠点として地域に開かれた事業団を目指している。

木戸デイサービスセンターにおいても、基本理念に基づいた地域とのつながりを重視し、市民が期待する公設の施設やサービスに求められる安心感や信頼に応えるとともに、大津市の貴重な社会資源を維持・管理していく。

また、デイサービスでは、利用者の尊厳を保ち、一人ひとりの意向や個性を尊重しながら支援を行い、さらにセンターの機能を活かしつつ大津市が策定した第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(おおつゴールドプラン2024)に掲げられている「住み慣れた地域で社会とつながり安心して暮らすことができるまちづくり」に貢献できるよう大津市とも連携強化を図っていく。

事業計画書(概要版)

～危機管理体制～



①日常時の安全管理について

- ・事故防止のため、ヒヤリハットの事例分析及び対策
- ・利用者情報を職員間で共有(健康状態など)
- ・施設管理運営及び安全管理に向けた職員研修の実施
- ・感染症対策(館内美化の保持など)
- ・施設等の維持管理業者と緊密に連携をとり、安全な施設運営を実施

②リスク管理について

- ・消防計画に基づく避難訓練の実施及び施設内巡視の徹底
- ・災害発生時、事業団独自マニュアルに基づく対応
- ・衛生・事故防止等の各マニュアルに基づき、適正に対応できる体制を構築
- ・施設内の日常点検により、不備箇所を早期発見し、修繕を行う
- ・防災計画及びBCPを活用し、事業所の体制を整えるとともに、定期的に訓練を通して計画の継続的見直しを行う

事業計画書(概要版)

～危機管理体制～



③緊急時の体制について

- ・年1回以上の土砂災害を想定した避難訓練の実施
- ・利用者の急変時、事故対応・防止マニュアルに沿った対応 → 看護師と連携
- ・AEDの使用方法等について、年1回講習を受講

④コンプライアンスについて

- ・理事会、評議員会の適正な運営、監事による監査等によるガバナンス体制の確立
- ・職員には労働関係の法令の遵守や、倫理、ハラスメントなど合わせて理解するよう研修を実施しコンプライアンスの意識を高めていく

⑤個人情報の保護について

- ・個人情報保護規程の制定、職員在職中及び退職後の誓約書による秘密保持の遵守

⑥ハラスメント対策について

- ・「職場におけるハラスメントの防止に関する指針」に基づく、事案の発生時の対応
- ・「カスタマーハラスメントに関する指針」を策定し活用

事業計画書(概要版)

～類似施設の管理実績～



施設名・所在地	主な業務内容	期間
・唐崎デイサービスセンター (唐崎三丁目17-35)	・生きがい事業 ・デイサービス事業 ・高齢者住宅生活援助員派遣事業	H15年4月～H18年3月 (管理受託) ※晴嵐はH12年4月～
・晴嵐デイサービスセンター (北大路一丁目9-2)	・デイサービス事業	H18年4月～H30年3月 (指定管理) H30年4月～R8年3月 (市から事業移管)
特別養護老人ホーム 榛原の里 (真野普門三丁目1120)	・長期、短期入所事業 ・デイサービス事業 ・老人介護支援センター	H6年4月～H18年3月 (管理受託) H18年4月～H23年3月 (指定管理) H23年4月～ (事業団立の経営)

事業計画書(概要版)

～職員の配置～



1. 所長1名(木戸交流センター所長兼務)
2. 看護職員2名
3. 生活相談員1名
4. 介護職員8名
5. 事務員1名(木戸交流センター兼務)
6. 運転手3名
7. 栄養士1名
8. 調理員4名

計21名

事業計画書(概要版)

～研修計画～



- ・「職員研修実施要綱」に基づく研修を実施
→職員のスキルアップ、専門性の向上、質の高いサービスの提供へ
- ・施設間の介護職員の交流研修
- ・他事業所の視察研修
- ・リーダーシップ研修
→リーダー育成、職員の資質向上

事業計画書(概要版)

～サービス向上策～



- ・厚生労働省推奨の個別機能訓練の実施と科学的介護情報システムを活用した質の高いサービスの提供
- ・外出レク(お花見ドライブ、紅葉狩りなど)、利用者ごとの誕生日会
- ・自前調理による栄養バランスの取れた食事
→体調や嗜好に合わせた選べる食事の提供
→季節ごとに行事に合わせた献立を用意
- ・利用者アンケートの実施(年1回)

事業計画書(概要版)

～利用促進の方策～



- ・毎月の営業訪問(居宅介護支援事業所など)
→デイの空き状況などを伝え、情報交換を行う事で連携を密にし、利用者獲得へ
- ・広報誌等の作成 → 利用者、ボランティア団体、事業所等へ配布
- ・イベントの開催(夏祭り等、地域の方も参加可能)
→地域へセンターをアピールし、利用促進へつなげる
- ・個別機能訓練の実施
→利用者の身体機能の維持・向上、要介護度の重度化を防止
- ・経験豊富な職員を配置 → きめ細かなケアの提供、QOLの向上へ
- ・苦情受付窓口を設置
→苦情への対応、再発防止策等について職員間で協議

事業計画書(概要版)

～新規利用者の獲得策～



- ・積極的な営業活動(居宅介護支援事業所などへの訪問)
→以前取引やお試しがあった事業所へも訪問、信頼関係の構築
- ・ホームページやSNSの活用による魅力発信
- ・令和7年度より新たに取得した個別機能訓練のPR(チラシ等)
- ・健康状態が不安でも安心して通所ができる
→関係医療機関を含め、多職種が連携して支援
- ・地域の会合への参加(学区社協、自治会、民児協など)
→地域に知ってもらう事で、新規利用者獲得へ

事業計画書(概要版)

～社会的貢献への取り組み～



- ・現場実習の受け入れ
→福祉現場実習、社会科見学の受け入れにより、福祉人材育成、教育の一翼を担う
- ・地域サロンへの参加
→地域サロン等へ出向き、体操を実演する事で、地域の方々の健康増進に寄与
- ・地域行事への参加
→清掃、除草作業など
- ・木戸障害者相談支援センターの職員が在籍しており、障害のある方への配慮やサポート

事業計画書(概要版)

～委託料・経費の縮減策～



委託料(指定管理料) 提示額: 44,755,000円【5年間】

<経費の縮減策>

- ・兼務による人件費の縮減
→木戸交流センターとの兼務
- ・競争入札の実施
→管理業務(清掃など)における競争入札の実施
- ・消耗品等、法人全体で購入するものについて一括購入し、経費の節減
- ・デマンド監視システムの導入
→光熱水費の見える化及び管理により縮減を図る

選定基準



◆選定基準 (大津市立木戸デイサービスセンター及び大津市木戸交流センター)

- 各審査大項目の点数及び合計点数において、60%を最低水準点とし、各審査大項目若しくは合計点数が最低水準点に達していない団体には順位は付しません。
- 全委員の「合計」の平均点と比較し、150%以上又は50%以下の得点を付した委員の採点は、他の団体の採点も含め除外するものとする。

審査項目	配点	評価係数	満点 (各委員)	委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	合計 (全委員)	最低水準点 (60%)	審査のポイント
(ア) 安定的な運営	40		70						350	210	
a1 木戸デイサービスセンター	5	3	15					0	—		・施設の設置条例及び募集要項、仕様書との整合性が保たれている。 ・民間施設とは異なり、公共施設を管理運営する意味を認識している。 ・周辺環境や地域特性を理解した方針が立てられている。
a2 木戸交流センター	5	1	5					0	—		
b 安全管理・リスク管理・緊急時の対応について	5	1	5					0	—		・日常時ににおける安全管理が徹底されており、利用者が安心して利用できる。 ・事前に想定されるリスクを把握し、そのリスクに備えた安定した管理ができる。 ・緊急時の体制が明確であり、危機管理意識が高い。 ・BCP（業務継続計画）に基づいた研修や訓練が実施されている。
c コンプライアンス・個人情報保護・ハラスマント対策について	5	1	5					0	—		・コンプライアンスに対する考え方を組織が持っており、職員に浸透している。 ・個人情報の保護が徹底されており、利用者が安心して利用できる。 ・利用者からのハラスマントや職員間のハラスマントへの対応策が確立されている。
d 類似施設の管理運営実績について	5	2	10					0	—		経験と実績を備えており、安定した運営ができる。
e 2施設一体運営に関する人員配置について	5	2	10					0	—		・デイサービス事業の人員配置基準を満たす職員確保ができている。 ・人員配置が的確で責任の所在が明確であり、安定した管理ができる。
f 職員の資質の向上について	5	2	10					0	—		職員の資質の向上が図られており、質の高いサービスを提供できる。
g 財務状況について	5	2	10					0	—		申請者の財務状況が良好であることが必要である。
(イ) サービスの向上	25		40					200	120		
a1 木戸デイサービスセンター	5	2	10					0	—		・新規サービスの提供又は既存サービスの手法改善によって、サービスの質が向上できる。 ・利用者の苦情への対処法（窓口、マニュアル、研修など）が確立できている。
a2 木戸交流センター	5	1	5					0	—		
b 利用促進策・新規利用者獲得策											
b1 木戸デイサービスセンター	5	3	15					0	—		・利用率を向上させる具体的な提案がある。 ・新規利用者を獲得する具体的な提案がある。
b2 木戸交流センター	5	1	5					0	—		
c 社会的貢献への取組について	5	1	5					0	—		社会的貢献への取組（地域貢献活動、障害者の積極的な雇用、障害者に対する合理的配慮の取組、地域経済活性化の取組、女性の活躍促進、ユニバーサルデザイン・バリアフリー）を行える。
(ウ) 経費の縮減	20		30					150	90		
a1 木戸デイサービスセンター	5	2	10					0	—		
a2 木戸交流センター	5	1	5					0	—		安定的な管理とサービスの質の確保を前提として、委託料が縮減できる。
b 管理運営経費の縮減策											
b1 木戸デイサービスセンター	5	2	10					0	—		
b2 木戸交流センター	5	1	5					0	—		より効率的な施設の管理運営に向けて具体的な提案がある。
合 計	85		140					700	420		

判断基準

5	大変良い
4	良い
3	中間点
2	やや劣る
1	劣る
0	不十分

※(ウ)「委託料（指定管理料）提示額」配点判断基準
基準費用を超えている／0点
基準費用の97%を超えて～100%以下／3点
基準費用の90%を超えて～97%以下／4点
基準費用の90%以下／5点

大津市健康福祉部指定管理者選定委員会 概 要



会議名	第1回大津市健康福祉部指定管理者選定委員会
日 時	令和7年7月16日(水) 9時30分～10時50分
場 所	大津市役所 本館4階 議会第4委員会室
出席者	委員5名、事務局8名
内 容	<ul style="list-style-type: none">・委嘱状の交付、委員長の選任及び職務代理者指名・施設概要の説明・併設する大津市木戸交流センター(市民部所管)と一体的に公募を行う募集要項及び仕様書の説明・選定基準について(ヒアリングに係る評価項目等の審議)

大津市健康福祉部指定管理者選定委員会 概 要



会議名	第2回大津市健康福祉部指定管理者選定委員会
日 時	令和7年9月30日(火) 10時00分～11時00分
場 所	大津市役所 新館2階 災害対策本部室
出席者	委員5名、事務局6名
内 容	<ul style="list-style-type: none">・申請状況の説明、ヒアリングの実施・評価項目に基づく審査・採点結果の報告及び候補者の決定

大津市健康福祉部指定管理者選定委員会 選定結果



各委員の採点の合計に基づく下記の選定結果及び選定理由について、出席した全委員から承諾を得た。

施設名	大津市立木戸ディサービスセンター
選定結果	<p>第1順位 社会福祉法人 大津市社会福祉事業団に決定 評価点505点(満点:700点)</p>
選定理由	<p>施設の設置目的及び管理運営に関する基本的な考え方を十分に理解しているとともに、類似施設の管理運営についての経験と実績を活かした、安定的な運営が期待できるため。</p>